

有田在住カナダ人陶芸家ジェレミー パレ ジュリアンによる
旅する器・HIZEN Traveling Tumbler(肥前トラベリングタンブラー)、
幸楽窯オンラインショップにて好評発売中です。



HIZEN Traveling Tumbler は令和2年度「肥前やきもの圏」採択事業。ジェレミーは肥前やきもの圏の歴史や魅力を伝えるアイコンとして数ある器の中からタンブラーを選び、各地で感じ取ったものをデザインに込めました。近年、世界中ですすむ「脱プラスチック」繰り返し使う、地球環境に配慮する器、好評発売中です。

幸楽窯 徳永陶磁器株式会社(本社:佐賀県西松浦郡有田町、代表取締役:徳永 隆信)は2021年2月より幸楽窯オンラインショップ(<https://kourakukiln.easy-myshop.jp/>)にて「肥前やきもの圏」企画提案事業・HIZEN Traveling Tumbler(肥前トラベリングタンブラー)を発売を開始しました。現在、トラベリングタンブラーを窯元で鋭意制作中です。2月中旬より順次発送を開始いたします。

肥前やきもの圏×ジェレミー パレ ジュリアン (幸楽窯)

日本磁器発祥の地「佐賀県有田町」。有田焼の美しさと自然の豊かさに心惹かれ、幸楽窯 徳永陶磁器(株)にて作陶をしているカナダ人陶芸家ジェレミー パレ ジュリアン。有田をはじめとする「肥前やきもの圏」の歴史や文化、やきもの美しさを多くの人たちにつたえるため、日々作陶活動をしている。このタンブラーを製作するにあたり、肥前やきもの圏を旅しインスピレーションを得たジェレミー。彼女の体験、感じ取ったものを5つのデザインで表現しています。



ジェレミーの作陶活動の一つ、MIMIZU Project。屋外に長年放置されていた器を再び窯で焼くと、表面にミミズが這ったような模様ができます。この模様はミミズと呼ばれ、白磁の美しさが魅力の有田焼においては不良品とされてきました。ジェレミー

はこのミミズに注目し、彼女のインスピレーションにより新たな表現としてミミズを活かした作品を世に送り続けています。

HIZEN Traveling Tumbler(肥前トラベリングタンブラー)

ジェレミーが肥前やきもの圏から感じ取ったインスピレーションを5つのデザインで表現しています。



Karatsu ware, one of the oldest Hizen ceramics, is more than 450 years old. Originally from the coast of Kyushu island, its production expanded inland to cities like Takeo. The simple beauty of the brushstroke is used to create designs such as flowers, birds and trees. Often in a combination of black iron, straw ash glaze and slip. Karatsu ware came to be well known for its tea ceremony product.

ひぜん最古の陶磁器のひとつである唐津焼は、450年以上の歴史があります。もともとは九州の海岸から、内陸部の武雄などに生産を拡大しました。ブラシストロークのシンプルな美しさは、花、鳥、木などのデザインを作成するために使用されます。多くの場合、黒鉄、麦わら灰釉、スリップの組み合わせです。唐津焼は茶道で有名になりました。



Around 1616 the Izumiyama quarry was discovered in Arita and Japan's porcelain production began. Within the first century, Japan overtook China and became the world's number one exporter. Originally shipped out of the port of Imari city, Arita porcelain became known as Imari ware. One of the most famous Arita painting techniques is the Kakiemon Style. It balances white space with intricate

nature-inspired imagery.

1616年頃、有田町で泉山磁石場が発見され、日本の磁器の生産が始まりました。1世紀以内に、日本は中国を追い抜き、世界一の輸出国になりました。もともと伊万里港から出荷されていた有田焼は、伊万里焼として知られるようになりました。有田の最も有名な絵画技法の1つは、柿右衛門スタイルです。それは、空白と複雑な自然に触発された画像のバランスを取ります。



Imari designs range from elegant and simple aesthetics, to highly decorated, intricate and colourful patterns. One of its famous styles is Nabeshima ware, which uses red, yellow and green enamel on a blue cobalt background. Originally produced exclusively for the Nabeshima Clan, its production technique was closely guarded and was offered as a gift to other clans.

伊万里のデザインは、エレガントでシンプルな美学から、高度に装飾された複雑でカラフルなパターンまで多岐にわたります。その有名なスタイルの1つは、青いコバルトの背景に赤、黄、緑のエナメルを使用する鍋島焼です。もともと鍋島氏のために特別に生産されたもので、その生産技術は厳重に守られ、他の氏族への贈り物として提供されました。



400 years ago, the lord of Hirado and his craftsman started producing ceramic. They moved to Mikawachi in search of good porcelain clay. Today the most renowned features of this style are hand cut alveoles holes and the hand painted karaoke chan figures.

400 年前、平戸の領主と職人が陶磁器の生産を始めました。彼らは良い磁器粘土を求めて三河内に引っ越しました。今日、このスタイルの最も有名な特徴は、切子細工とジェレミー手描きの唐子ちゃんです。

400 年前、平戸の領主と職人が陶磁器の生産を始めました。



Hasami ware started over 400 years ago. Made for daily use, it had a direct influence on the Japanese food culture. In contrast to other local styles it draws its design inspiration from geometrical shapes and kimono fabric patterns. It is well known for its sturdiness and durability decorated with underglaze cobalt blue.

波佐見焼は 400 年以上前に始まりました。日常使いで、日本の食文化に直接影響を与えました。他の地元のスタイルとは対照的に、幾何学的な形や着物の生地のパターンからデザインのインスピレーションを得ています。

釉下コバルトブルーで装飾された頑丈さと耐久性でよく知られています。

Traveling Tumbler のコンセプト

旅するタンブラー

旅先でタンブラーの写真をシェアしたり、他のタンブラーの旅をみながらコーヒブレイクしたり。旅の思い出やの冒険を追体験することも「トラベリングタンブラー」のコンセプトの一つ。世界との距離がグッと身近に、トラベリングタンブラーで旅する、という新しい概念を提案していく新しいやきものプロダクトです。

SNS ヘイジー・アクセス

タンブラーの底に QR コード。ここからトラベリングタンブラー公式 Instagram へ簡単にアクセス。そこには #travelingtumbler で投稿された数々のトラベリングタンブラーがあなたを待っています。

なぜ、タンブラー？

タンブラーは、日常生活や外出先でも使えるもの。SDGs の「12. つくる責任 つかう責任」をやきもののタンブラーに込めました。繰り返し使うことで、地球環境にも配慮しつつ、肥前やきものの歴史や魅力を広めることのできるアイテムとしてタンブラーを数ある器のなかから選定しました。



12. つくる責任 つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

商品ページ

<https://kourakukiln.easy-myshop.jp/c-fpage?fp=TT intro01>

日本語／カナダ人陶芸家ジェレミー パレ ジュリアンによる 旅する器・HIZEN Traveling Tumbler

<https://kourakukiln.easy-myshop.jp/c-fpage?fp=TT intro02>

英語／Designed by Jérémie Paré-Julien, The HIZEN Traveling Tumbler was launched

商品概要

商品名／Traveling Tumbler(トラベリングタンブラー) 唐津・武雄／有田／伊万里／平戸・三川内／波佐見・吉田

商品サイズ／直径約 8.5cm×高さ約 13 cm 材質／カップ:磁器、蓋:シリコン

小売価格／¥2,700+消費税

問い合わせ

【肥前やきもの圏】

「肥前窯業圏」活性化推進協議会(事務局:佐賀県文化・スポーツ交流局文化課)

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内 1-1-59 Tel:0952-25-7236

【問い合わせ・販売元】

徳永陶磁器株式会社 代表取締役 徳永 隆信

Mail: kouraku.jp@gmail.com Tel: 0955-42-4121 Fax: 0955-43-2627

※商社様、小売店様への卸価格のご相談、またトラベリングタンブラーの OEM 制作を承っております。
お見積り、ご相談等はお気軽にお問い合わせください。

※トラベリングタンブラーに対する広告宣伝等の営業についてはお断りさせていただいております。
何卒、ご了承くださいますようお願い申し上げます。